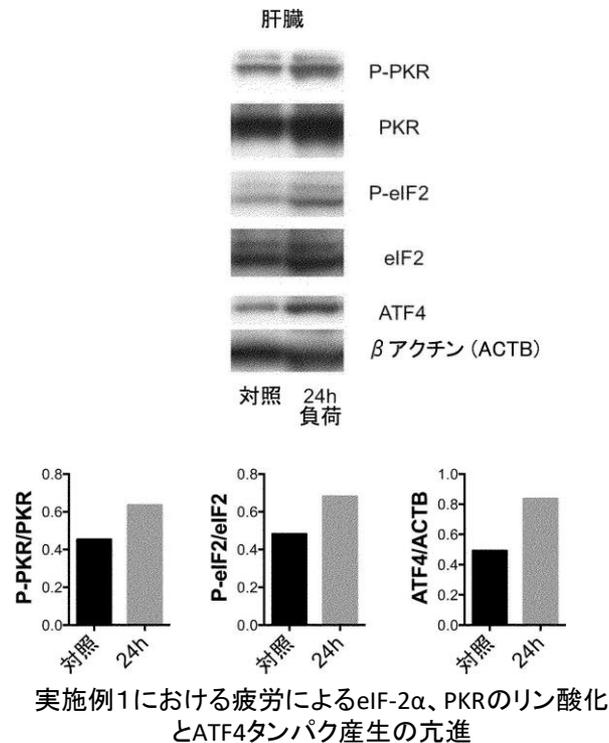


発明の名称	疲労に関与する因子及びその利用		
出願人/権利人	株式会社ウイルス医科学研究所	発明者	近藤 一博、小林 伸行、岡 直美
出願日	平成27年8月13日	出願番号	2016-545433
公開番号	WO2016/031581	特許番号	6623162
法的状態	登録中		

## 代表図



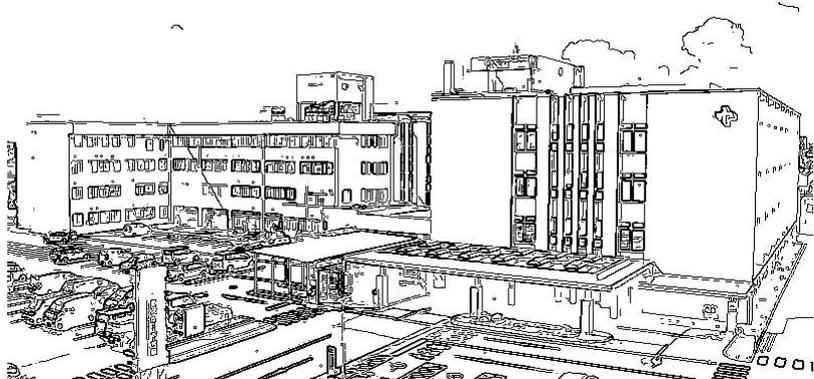
## 発明の概要

ヒトの疲労度を評価する方法と、抗疲労物質または抗疲労法の抗疲労力測定方法

## 特徴

ヒトの疲労症状に対して、抗疲労物質や抗疲労法が疲労の発生機構のどの段階に作用して、どの程度改善効果を有するのか定量的に測定できる。細胞中の真核生物翻訳開始因子2 $\alpha$ (eIF-2 $\alpha$ )リン酸化シグナル抑制因子の量を指標として、被験対象生物の抗疲労力を評価する抗疲労力評価方法である。市場に出回る疲労回復、滋養強壮・栄養補給を謳う医薬品や食品、疲労回復効果を謳った健康器具や電化製品などがどの程度生体において抗疲労力を発揮するのか、といった情報を消費者及び社会に提供できる。消費者が商品を選択する際の一つの目安として利用できる。

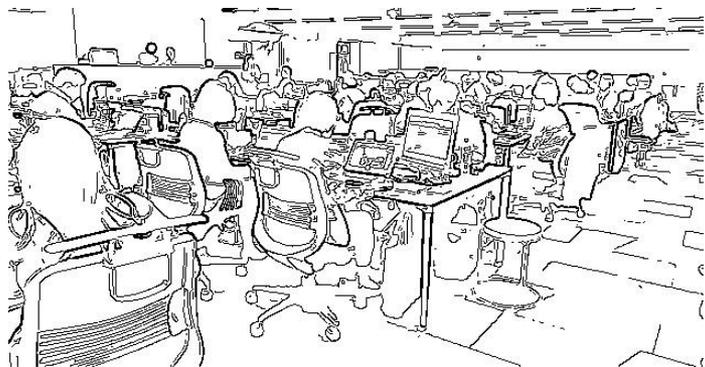
# 応用の可能性



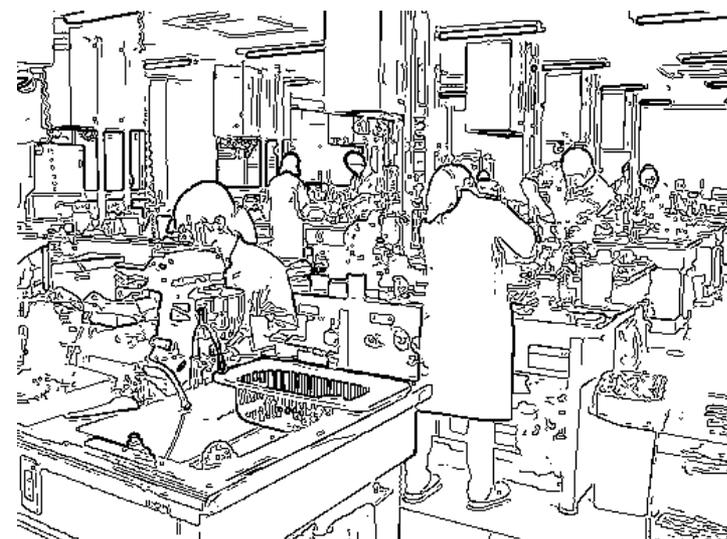
病院



役所



職場



メーカー研究所

学校



など

## 応用の可能性

- ・病院
- ・学校
- ・職場
- ・役所
- ・メーカー研究所
- など

## 本技術の活用が見込める企業の一例

- ・株式会社日立ハイテクノロジーズ
- ・東ソー株式会社
- ・株式会社エイアンドティー
- ・シスメックス株式会社
- ・アークレイ株式会社
- ・株式会社オルトメディコ
- ・株式会社新薬リサーチセンター
- ・株式会社LSIメディエンス
- ・オムロンヘルスケア株式会社
- ・PHCホールディングス株式会社
- ・株式会社ニコン
- など

## 株式会社ウイルス医科学研究所の本発明に関する最新動向

- ・同社のホームページは見受けられない。同社は株式会社総医研ホールディングスの子会社となっている。  
(<http://www.soiken.com/>)